

2019年度 寄せられた意見要望

(自)2019年4月1日(至)2020年3月31日

つばみ保育園	解決責任者	小島千枝(園長)	受付責任者	西村美香(主任保育士)
	第三者委員	松本良憲(元 父母の会会長) / 松本須摩子(千早西校区民生委員) / 山田康司(元 法人監事)		
	受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
	2019年5月15日	近隣住民	保護者駐車場から出てくる車が一旦停止せずに飛び出してくるため危険な場면을繰り返し見ている。指導してほしい。	保護者(全世帯)に文書を配布すると共に園内に掲示して知らせ、駐車場出口付近に「一旦停止」の張り紙をして注意喚起した。
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
さわらび保育園	解決責任者	三笠良子(園長)	受付責任者	荒津佐知子(主任)
	第三者委員	藤井隆晴(中学校教諭) / 小島加須子(法人監事)		
	受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
新宮つばみ保育園	解決責任者	藤井由理(園長)	受付責任者	中岡千晶(主任)
	第三者委員	岡藤康弘(元保育園長) / 山田康司(元 法人監事)		
	受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
	2019年10月21日	園児祖母	帰宅後子どもの足が腫れているのに気付いた祖母が保育園で何かあったか電話で尋ねてきた際、思い当たる事がなかった為、担任は上り棒の塗装の青色が足に付いたのではと思いその旨を伝えた。「怪我と塗料の違いぐらい見ればすぐわかる。」と言って保育士の対応に誠意がないと腹を立てる。母親が病院へ連れて行き骨折の疑いと診断される。	怪我をした時間帯にいた保育士全員に状況を尋ね、その日の内に怪我の状態を見に行き確認する。遊んでいた時の様子を詳しく説明する。降園時走って帰る姿からも異常を感じず、祖母から電話で尋ねられて怪我を軽く考えていた為、そのような言動になった事を反省、謝罪し納得してもらう。
	2019年11月29日	園児父	子どもが嘔みついてしまった事を父親に報告する際、相手の保護者とお迎えの時間が重なり、相手の保護者の前で状況を説明した為、保育士のデリカシーのない対応に腹を立て、保育園にく苦情の電話をしてくる。	伝達の際どのような対応が適切であるか、保育士間で話し合う。配慮に欠ける事がないよう誠意をもって保護者に接していくよう反省をする。その旨を父親に丁寧に報告し納得してもらう。
—	—	—	—	
—	—	—	—	